# 会　議　結　果

| | |
|---|---|
| 会議名 | 令和８年度第２回西尾市食育推進会議 |
| 日　時 | 令和８年１０月８日（木）午後１時３０分～３時００分 |
| 場　所 | 市役所２２会議室 |
| 出席者 | 委　員：上原正子、加藤裕美、榎本泰典、浅井朝美、鈴木健吾、阪野知美、小島周平、岡安亜希子、大村衣里、太田知宏、岡田明美、牧千鶴、華尾英幸、鈴木健太、深谷祐子、田代幸子、川島憂子<br>事務局：守山秀樹、鈴木誠、榊原裕市、村松ありさ<br>委託事業者 |
| 傍聴者 | ２人 |
| 議　題 | １　上位計画を踏まえた計画策定の趣旨について<br>２　食生活等に関するアンケート調査結果について<br>３　新計画の体系案（基本コンセプトとテーマ）について<br>４　その他 |
| 結果等 | |

**１　上位計画を踏まえた計画策定の趣旨について**

【事務局説明】国の「学校等での食や農に関する学びの充実」、「健全な食生活の実現に向けた“大人の食育”の推進」、「市民の食卓と生産現場の距離を縮める取組の拡大」といった３つの重点項目と、県が掲げる体、心、環境、支えるといった「４つの視点」に沿って施策を展開する。本市は県内でも第一次産業が盛んな地域であり、市民が西尾の食の価値を正しく考え、選択していくことが地域産業の振興へもつながっていく。それに向け、庁内関係課の横断的連携はもちろんのこと、地域住民、学校、企業、ボランティアが一体となった推進体制を築いていくことが必要。

【意見】

・大人と言っても若年層だけでなく高齢層への食育の普及も考え、国民全体へといった視点を忘れずに持ってほしい。

**２　食生活等に関するアンケート調査結果について**

【事務局説明】一般向け、小中学生向けのアンケート結果を基に、本市の状況等を踏まえた次期計画に向けた方向性を説明。

【意見】

・参加したい食育に関する行事はあるかという問いに対して、参加したいものはないという回答の小中学生が想定より多く課題を感じる。

・西尾の特産と言えば抹茶やうなぎだが贅沢品のため、手軽に地産地消、食べるのは難しいと感じる。

・漁業体験を行う上で安全性を確保したうえで行うことが必須であり、制約が多くなかなか実施が難しい。

**３　新計画の体系案（基本コンセプトとテーマ）について**

【事務局説明】本計画で掲げる目指す姿は「食でつながる、笑顔と未来の西尾市～すべての市民が食を選び、楽しみ、恵みを育むまち～」であり、市民の行動を促すキャッチフレーズは「みんなワクワク！にしおごはん～たべて・つながって・育っていく～」とすることを検討。副題の～たべて・つながって・育っていく～に即した三つの目標に向けて、事業計画を検討していく。また、食育キャラクターのリニューアルを検討している。

【意見】

・食育キャラクターのリニューアルは、一目で同じキャラクターであるとわかる範囲で留めてほしい。

・目指す姿、キャッチフレーズとして、健康に対しての言葉も入ってくるとより一層良くなると感じる。

**４　その他**

・次回は、令和８年１１月１０日（火）を予定していることを報告した。

【委員長総括】

アンケートの自由記述には、西尾市民の方々の忌憚ない意見が多く書かれている。これは素直な意見であり、実状である。「関心がない」といった意見に対して、どういった対策を講じていくのか等、プラスな意見もマイナスな意見も集まって市の計画ができていくことになる。